

第1回ワークショップの意見

第1回のワークショップでご意見いただきましたご意見を、項目別に整理しました。なお、各ご意見の後ろに記載した**赤文字（評価の視点●）**は、後ほどグループワークで話し合いいただく「資料5 評価の視点及び評価軸（案）」の評価の視点（案）で整理したA~Iのどの項目に結びついたかをお示ししたものです。ただし、ご意見の内容によって「評価の視点」に結びつかないものについては、市としての対応を記載しています。

- 例) ● 今の自分たちのことだけでなく、次の世代や子どもたちにとって良い環境になるように、それぞれの立場で積極的に話し合っていきたい。**（評価の視点A、B、C、D、E、F）**
 ↓ 資料5：評価の視点（案）に結びついた項目

1. 検討の進め方に対する意見

(1) ワークショップの進め方

- 早通地域検討会準備会での意見を参考にワークショップを進めるべきだ。これまでの議論を無駄にしないでほしい。準備会の結果を踏まえた市としての方向性を聞きたい。
（今後の進め方として配慮）
- 地域別実行計画について、各回で何をどこまで話し合うのか分からない。具体的な例があると進めやすい。**（今後の進め方として配慮）**
- 検討内容が漠然としているため「複合化するならどういう風にしたいですか」というようなシンプルな問いの方が議論しやすい。**（今後の進め方として配慮）**
- 検討会準備会では市からの意見は出ていなかったため、市の意見も聞きながら今後の方向性を話し合えればと思う。**（今後の進め方として配慮）**
- 早通児童センター、早通コミュニティセンターを単独で建替えや継続ができないとなれば根拠を示してほしい。また、資料で示している継続、複合化、集約化した場合の見込みコストを知りたい。**（評価の視点I）**
- 資料の施設の利用実績を見ても利用者の様子がわからないため、課題をあげられない。利用者や施設関係者の意見を聞くべきだ。**（評価の視点G）**

- 子育て世代の人たちや若者がワークショップに参加できるような工夫や、意見を収集するための対応をしてほしい。**(今後の進め方として配慮)**
- 地域全体でこれからの公共施設について考えたい。ワークショップの参加者以外の住民が知らない間に、施設の廃止や集約の話が進むことがないようにしてほしい。**(今後の進め方として配慮)**
- 今の自分たちのことだけでなく、次の世代や子どもたちにとって良い環境になるように、それぞれの立場で積極的に話し合っていきたい。**(評価の視点 A、B、C、E、F、G)**
- 早通児童センターについては、ガイドラインに沿った視点での議論が必要だ。運営についての議論や協議を進めていく中で予算を検討する方が良いのではないかと。**(評価の視点 A、B、C、E、F、I)**
- 本気で早通地域の将来を考えるのであれば、市長にも来てもらい、地域の人の気持ちや意見を聞いてほしい。**(今後の進め方として配慮)**

(2) 説明・資料について

- 資料や説明の中でカタカナ言葉が多く、理解に時間がかかってしまう。資料は文字の量も多いので、見やすく分かりやすくしてほしい。**(資料作成において尊重)**
- 議論を進めていくために、早通児童センターが運用している「改正児童館ガイドライン」を次回の会議で資料として配付してほしい。**(今回配付)**
- 資料の「新潟市北区の今後の人口見通し」では子どもの人数が減少しているが、早通地域内では子どもが増えている町内もあるので、この数値で判断できるのか疑問だ。**(評価の視点 A、B、C、E、F、G)**
- 資料の「早通児童センターと早通コミュニティセンターの利用状況」の2ヶ月間だけで判断されては困る。**(評価の視点 A、B、C、E、F、G)**
- 資料の「全市コミュニティセンター及び早通コミュニティセンターの部屋別利用率」で早通コミュニティセンターの利用率が市内の他地域に比べて少なくなっているが、早通地域の人口が少ないので仕方ないと思う。**(評価の視点 I)**

2. 早通地域の公共施設の現状・課題

(1) 早通地域の公共施設の現状・課題

- 駅前に早通コミュニティセンターと早通児童センターがあり、立地は悪くないと思う。アクセスも良く、敷地の広さも十分だ。(評価の視点 A、B、C、E、F、G)
- 早通地域は線路を境に南北が分かれているので、南側と北側それぞれに子どもの遊び場や多世代のよりどころとなるような拠点施設が必要だと思う。(評価の視点 I)
- 早通児童センターには新崎、濁川、木崎などの周辺地域からも子どもが遊びにきている。早通地域だけではなく周辺地域の人にとっても必要な施設だと思う。(評価の視点 A、B、C、F)
- 移動手段が徒歩となる子どもや、車の運転ができない高齢者が増えているので、バスやタクシーなどの送迎サービスがあればさまざまな世代が地域の公共施設を利用しやすくなると思う。(参考意見)

(2) 必要な機能

- 子どもの人数が減り、地域行事も減ってきている中で、地域住民同士の交流の場として、早通児童センターや早通コミュニティセンターは重要だと思う。(評価の視点 C、E、F、G)
- 公共施設にエレベーターがなく高齢者が施設を使いづらい。(評価の視点 D)
- 高齢者は増えていくので、エレベーターはあった方が良い。(評価の視点 D)
- 地域内に子どもたちが安心できる居場所や遊び場が少ないのではないかと。子どもたちが無料で自由に遊び、悪天候でも体を動かせる場所は大切にしたい。(評価の視点 A、F)
- 早通地域の活性化のために、赤ちゃんから高齢者まで多世代で交流でき、安全に過ごせる多目的施設が必要だ。(評価の視点 A、C、E、F、G)
- 津波等災害時に避難できるシェルター機能があると良い。(評価の視点 H)
- 施設の老朽化は災害時に心配だ。新設する際には避難場所としてしっかりコストを割いて建設し、運用を効率よく行うことでコストを抑えることが重要だと思う。(評価の視点 H、I)

(3) 活動・利用状況

- 建物内の照明が暗い施設が多く、入りづらさを感じてしまう。(基本構想時に配慮)
- 営利目的で施設を利用すると、利用料金が割増になったり団体登録できなかったりと気軽に利用できない。(評価の視点 I)
- 各施設で足りない機能を補いあうように工夫することで、利用者が増えると思う。(評価の視点 A、B、C、E、F)
- 早通コミュニティセンターと早通児童センターが隣接しているので、臨機応変に利用できると良いと思う。(評価の視点 A、B、C、F、E)

(4) 再編に向けた課題・提案

- 人口が減っているから施設をなくすのではなく、他地域からも来てくれるような施設を作ることで、人を呼び込むという考え方もできるのではないか。この地域に住みたいと思うような施設ができれば人口は増えると思う。(評価の視点 A、B、C、D、E、F、G、H)
- 税収減により、施設のサービスの維持が難しいので、ハード面（施設）をどうするかという議論より、地域で子どもたちをどう支え、育て、見守っていくのかというソフト面（サービス）の価値の見直しが必要ではないか。(評価の視点 A、B、C、E、F、G)
- 他市に大きな交流拠点複合施設がある。新潟市も新潟駅周辺ばかりにお金をかけるのではなく、市街地から離れた地域にも子どもの育成や地域が必要とする施設にはきちんとお金をかけてほしい。(評価の視点 I)
- 政令指定都市としての人口比率からみると新潟市は公共施設が多い市だということは理解している。施設が多い分、人件費もかかるので、これ以上施設は増やせないと思う。現状維持か施設の縮小をせざるを得ないのではないか。(評価の視点 I)
- これまで地域の先輩たちが作り上げてきた早通地域の施設は、それぞれの利用者にとって必要な機能やサービスがある。老朽化という言葉ばかり使うが建物の修繕、メンテナンスを行いながら、既存の施設を維持することができるのではないか。(評価の視点 I)

3. 早通コミュニティセンターの現状・課題

① 現状

(1) 必要な機能

- 習い事やサークル活動をする場所として必要だと思う。自宅や他人の家で活動するのは難しいため、気兼ねなく活動ができる場が地域にあることはとても大切だ。(評価の視点 G)
- 2階にトイレがなく、エレベーターもないので、高齢者や小さい子どもは不便である。今後、新しく施設をつくるのであれば、バリアフリー対応にしてほしい。(評価の視点 D)
- スポーツができたり体を動かせる体育館のような部屋があると子どもや若い世代も利用すると思う。小中学生で構成されたサークル活動を増やすなど、若年層の利用を増やしたい。(評価の視点 A、F)
- 早通地域には中高生の居場所があまりないので、駅からも近い早通コミュニティセンターが中高生の居場所となると良い。(評価の視点 A、B、C、E)
- 図書館のような誰でも自由に活用できるスペースがあると良い。(評価の視点 C)

(2) 活動・利用状況

- 窓口の申請手続きがオンライン化されていない。窓口申請とオンライン申請と両方あれば若い世代も利用しやすい。(参考意見)
- 高齢化によって利用者が減っていると思う。部屋別の利用状況を見ても、利用者の年齢層に偏りがあるように感じる。利用率が上がるような運用の工夫をしてほしい。(評価の視点 A、B、C、D、E、F、G)
- 情報発信がイベント情報ばかりで、施設の特徴が伝わりづらい内容になっていると感じる。若い世代や施設を使ったことがない人が利用したくなるような情報発信をしなければ利用率は上がらないと思う。(参考意見)
- もっと子どもが楽しめる行事をやりたいと思っても、地域でイベントを主催する役員が高齢化しているので難しい。地域の担い手不足も課題として考えていかなければならない。(参考意見)

(3) 早通コミュニティセンターの諸室

【講座室】

- 小会議室の代用として利用することが多いため、少人数で会議ができる場所であれば和室でなくても良い。(評価の視点 G)
- 飲酒を伴わない会合は早通地域コミュニティセンターの講座室を、飲酒を伴う会合はいするぎ荘の和室を会場として使い分けている。(評価の視点 G)

【調理室】

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用が減ったと思うが、最近は調理室を使っているところを見ていない。子ども向けの体験やこども食堂など活用方法はあると思う。(評価の視点 E、G)
- 大きい鍋などを運ぶ際は、階段が危険に感じることもあるので1階に調理室があると良い。(評価の視点 D)

【講堂】

- ダンスで使うことが多いが、予約が取りづらい状況であると聞いた。1階の部屋は狭くて運動をすることはできないため、いするぎ荘を使うこともある。(評価の視点 F、G)
- 今後、新しい施設にするのであれば、利用者のニーズや使い勝手に合わせた部屋割を検討してほしい。例えば、大きい部屋を増やし、必要な時は小さく区切って使うといった対応ができると良い。(評価の視点 C、E、G)

【早通連絡所】

- 住民票を取る時によく使うので、連絡所の機能は残してほしい。車がない高齢者や高校生も歩いて行けるので便利だ。(基本構想時に配慮)

(4) いするぎ荘の諸室

【和室】

- 早通コミュニティセンターの部屋がすべて埋まってしまっている時やお酒を飲む会を開く時に利用している。(評価の視点 G)
- 地域の文化祭などでステージを使っているが、狭くて使いにくい。ダンスの発表ができる大きなステージがあると良い。(評価の視点 F)
- お酒を飲む会、地域の文化祭などで利用しているが、高齢化で団体が少なくなり、和室

利用の需要も減っているのではないか。(評価の視点 G)

【工作室】

- ろくろや水道があるため、陶芸教室で利用している。焼く作業ができないので電気炉を入れてほしい。(評価の視点 I)

② 課題

(1) 再編に向けた課題・提案

- 事務所が雨漏りしているため、早急に直してもらいたい。市に要望しているが、なかなか動いてもらえない。(対応中)
- グラウンド等を活用し、利用料の値上げなどの運営上の工夫で、雨漏り対策など修繕費を賄えば、施設の継続利用が可能になるのではないかと。(評価の視点 I)

4. 早通児童センターの現状・課題

① 現状

(1) 必要な機能

- 検討会準備会で児童センターの雨漏りについて多くの意見が出ていたのだから、きちんと現状を報告すべきだったのではないかと。早急に解決策を検討してほしい。(別途対応を回答)
- 雨漏りの中で子どもが遊ぶことは大変危険だ。今後、新しい施設ができることになっても、まだ先の話なので、現状の利用の妨げとなる場所はお金をかけてでも早く直してほしい。(評価の視点 I)
子どもたちが自由にやりたいことができる、いつでも誰でも行けるといふところに価値があると思う。また、保育園や家庭では体験できない遊びや、他者と関わるなかでの学びがある。(評価の視点 A、C、E、F)
- 子どもは地域にとって一番の宝である。子どもの数が減っているから、施設を廃止・縮小するのではなく、子どもにとって大切な居場所となっている施設をなくしてはいけないと思う。これまで地域住民で作り上げてきた歴史のある施設なので残したい。(評価の視点 A、B、C、E、F)
- 子どもたちの交流の場だけでなく、イベントのボランティアとして関わっている保護

者や、施設を利用する地域の大人にとっても交流の場となっている重要な場所である。

(評価の視点 A、C、E、F、G)

- 早通児童センターの存在が子育てしやすいまちのイメージを作っていると思う。廃止の場合、子育て世代への印象が悪くなり、子育て世代が流出してしまうのではないか。

(評価の視点 A、B、C、E、F)

- 最近流行っているボルダリングやスケートボードを楽しめる機能や、運動だけでなく Wi-Ei を使用するゲームなど新たなコンテンツがあれば、子どもがもっと利用してくれるのではないか。**(評価の視点 A、C、F)**
- 施設の管理人だけでなく、専門職員の配置が必要だ。**(再配置施設の運用方針にもとづき配慮)**
- 早通児童センターのように、名称に「センター」とつき、体育館が設置されていると、児童館のように健全育成だけが目的でなく、体力増進の目的もあるということを知り、児童館ではなく児童センターが地域には必要だと感じている。**(評価の視点 F)**

(2) 活動・利用状況

- 行事企画や子どもの見守りなど多忙で現状職員の数が足りていないと感じる。緊急時の事も考えると多くの人員が必要だ。**(再配置施設の運用方針にもとづき配慮)**
- 高校生になると行く機会が減ってしまう。年齢が上がるにつれて利用しなくなることが、利用者減少の一つの原因ではないか。**(評価の視点 B、C、E、F)**
- 小学生が幼児と遊んでくれる環境は保育園内にある子育て支援センターにはなく、早通児童センターならではだと思う。また、高校生や大学生の来館者数は少ないが、小さな子どもたちは遊びに来てくれることを楽しみにしている。**(評価の視点 A、B、C、E、F)**
- 開館時間が 10 時と遅くなったが、夏休みの暑い中、子どもが開館を待っている姿を見ると、夏休みだけでも開館時間を変更するなど柔軟な対応があっても良いのではないかと思う。**(再配置施設の運用方針にもとづき配慮)**
- 早通児童センターの関係組織を集めて、一年に 2、3 回くらいの頻度で児童センターの利活用に関する情報交換会を実施できると良い。**(再配置施設の運用方針にもとづき配慮)**
- 子どもたちがみんなと一緒に遊ぶことができ、子ども同士の関わりを持てるちょうど良い広さになっていると思う。**(評価の視点 A、C、E、F)**

(3) 早通児童センター諸室

【体育館】

- 利用する子どもたちの人数に対して、十分に体を動かせる広さがない。小さい子どもから小学生までが一緒に使っているので、狭く危ないと感じる時がある。今よりも広い体育館があると良いと思う。(評価の視点 F)
- 今の広さでは中高生が利用するには狭い。そもそも児童センターは18歳未満の子どもが対象の施設なので、中高生も使えるような広さを確保することは必要ではないか。そうすることで中高生の居場所になると良い。(評価の視点 B、C、E、F)
- 学校以外で体育館を利用できる施設は児童センターしかないので、絶対に体育館は確保してほしい。今より広い体育館になれば、高校生や大人も使えるようになり、利用率も上がるのではないか。(評価の視点 A、C、E、F)
- 冷暖房がないので、どの季節でも子どもたちが快適に遊べるように冷暖房を完備してほしい。(基本構想時に配慮)

【図書室】

- 主に幼児から小学生向けの部屋なので、中高生が学習できるスペースもつくった方が良い。(評価の視点 A、B)

【グラウンド】

- グラウンドでも自由に遊べるようにしてはどうか。(評価の視点 A、C、F)

② 課題

(1) 再編に向けた課題・提案

- 今後、早通コミュニティセンターと早通児童センターを複合化し、新しい施設ができたとしても、現在の早通児童センターが運用している「改正児童館ガイドライン」に則って、適正な運営してもらいたい。(評価の視点 A、B、C、E、F、H)
- 施設の持続に向けたクラウドファンディングなどの前向きな施策や、施設の運営を地域住民や企業に頼り人件費を削減するなど、修繕費等の予算を確保することで、児童センターを今のまま継続できる方法があるのではないか。(評価の視点 I)
- 児童センターとコミュニティセンターを複合化したとしても、今までと同じ10時から18時は子どもが自由に遊べるようにしてほしい。子どもたちやその保護者、中高生の

居場所となることが一番大切だと思う。(評価の視点 A、B、C、E、F)(再配置施設の運用方針にもとづき配慮)

5. 課題解決に向けたアイデア

(1) 現状の課題に対するアイデア

- 早通コミュニティセンターの利用について、窓口での申請手続きのオンライン化や、Wi-Fi が無料で使えるフリースペース、ポイントサービスなど運営の工夫をすることで、新たな利用者が増えると思う。(評価の視点 C)
- 早通児童センターの開館時間が 18 時までとなっているが、勉強ができるフリースペースをつくるなど中高生が使いやすい空間や時間帯にする必要がある。(評価の視点 B)(再配置施設の運用方針にもとづき配慮)
- 早通児童センターの雨漏りを早急に直せないのなら、一時的に早通コミュニティセンターに早通児童センターの機能を移すことも検討したらどうか。子どもの安全を一番に考えてほしい。(別途対応を回答)
- 早通コミュニティセンターについては、サークル活動等で日頃から利用している人が集まって、施設のあり方や使い方を話し合う機会があっても良いと思う。(参考意見)

(2) 施設再編のアイデア

【計画について】

- 各施設の雨漏りを直して、安全が確保できるなら新しく建替えなくても、今の施設をそれぞれ使い続けるという方向性もあって良いと思う。運営の工夫をすることで、収入を増やすことができれば建物の修繕費に充てることができるのではないかと。(評価の視点 I)
- 早通は高齢化が進んでいるので、新しく施設を建てる場合はバリアフリー対応にしてほしい。(評価の視点 D)
- 早通コミュニティセンターといすぎ荘の両方に和室があるので、早通コミュニティセンターの講座室は別の部屋に転用した方がいいのではないかと。(評価の視点 C、E、G)
- 利用率の低い貸室は、予約がない時に学習スペースとして開放し、一人でも勉強できる席を用意したら良いのではないかと。(評価の視点 B)

- 学校の空き教室を子どもたちが勉強等に利用できるフリースペースとして活用したらどうか。(評価の視点 B)
- 早通コミュニティセンターにカフェやコンビニのようなお店を入れることで、コミュニティセンターの利用人数が増加し、収入を増やすことで建物の修繕費に充てることのできるのではないか。(評価の視点 C、E、I)

【複合化について】

- 早通児童センターと早通コミュニティセンター、いするぎ荘を複合化する方向で進められると良い。どの施設も築年数が40年以上となり、老朽化も進んでいるので、早急に複合化に向けて話し合いができると良い。(評価の視点 I)
- 早通コミュニティセンターと早通児童センターは同じ時期に建てられ、老朽化の状況も同じなので、複合化し、新しい施設にしたら良いと思う。多機能かつ、多世代で交流できる場にし、早通地域の多くの人ができる施設にしてほしい。(評価の視点 C、E、F、G)
- 施設を複合化するとしたら、早通コミュニティセンターは少ない部屋数で多目的に使えると良い。また、あまり利用されていない調理室や講座室をなくして、子どもたちが遊べるスペースにしたらどうか。(評価の視点 A、C、E、F、G)
- 複合化して新しい施設にするなら、子育て世代や中学生、高校生にとっても居心地の良い場所にしてほしい。例えばロビーに Wi-Fi があるフリースペースをつくれば中高生の利用が増えるのではないか。(評価の視点 B、C、E)
- 小規模でも良いので複合施設がつくれたら、子どもから大人まで利用できて良いと思う。子どもが遊ぶスペースは無料で利用できると理想的だ。(評価の視点 A、B、C、E、F、G)
- 複合化し体育館を両施設で共有するのならば、利用の時間帯を被らずに使えるのではないかと。昼間は高齢者、夕方は子どもたち、夜はダンスや社会体育、スポーツなど、大人も使えるようにすれば利用率が上がると思う。必要な備品も併せて検討してほしい。(評価の視点 E、F)(再配置施設の運用方針にもとづき配慮)
- 複合化して新しい施設をつくる場合は、芝生広場や遊歩道をつくり、散歩やジョギングができ、親子で集えるような屋外広場があると良い。(評価の視点 A、C、E)
- 複合化して新設するなら、今のコミュニティセンターの場所に建ててほしい。旧早通小学校跡地として、地域住民からも認知されていて、敷地面積も十分なので立派な建

物もつくることができると思う。(評価の視点 I)

- 今後、早通コミュニティセンターと早通児童センターを複合化するのであれば、総合窓口で一括管理するのではなく、各施設の機能ごとに受付があり、細やかな対応ができる仕組みにすると良いと思う。(評価の視点 I)(再配置施設の運用方針にもとづき配慮)